

KAGOSHIMA
PRINTING INDUSTRY
ASSOCIATION
2012

第34回
印刷年始会

と き

平成 24 年 1 月 20 日 17:00~

と ころ

城山観光ホテル ロイヤルガーデン

開催事務局



鹿児島県印刷工業組合

第34回 印刷年始会

司会 月野 るり子

開 会

国歌斉唱

主催者あいさつ..... 鹿児島県印刷工業組合理事長 岩重 昌勝

来賓紹介

祝 辞..... 鹿児島市長 森 博幸 様

祝 演..... 音楽工房 彩(いろどり)

アメージング グレイス

Fly Me to the Moon

星に願いを

開 宴

ご挨拶と乾杯..... 九州印刷材料協同組合理事長 土井 健二 様

中 締 め..... 鹿児島県印刷工業組合副理事長 益山 正義

※お願い/乾杯のあと15分ほど、席を立たれないようお願いいたします。

来賓ご芳名

- | | | |
|--------------------|-------------|---------|
| ◇鹿児島県 | 商工労働水産部次長 | 陶山 修 様 |
| ◇鹿児島市 | 市長 | 森 博幸 様 |
| ◇鹿児島市 | 商工振興部部长 | 的場 睦夫 様 |
| ◇株式会社商工組合中央金庫鹿児島支店 | 支店長 | 藤波 靖夫 様 |
| ◇株式会社日本政策金融公庫鹿児島支店 | 中小企業事業統轄 | 福地 誠 様 |
| ◇株式会社日本政策投資銀行南九州支店 | 支店長 | 大和 弘明 様 |
| ◇鹿児島県中小企業団体中央会 | 副会長 | 柳 正保 様 |
| ◇鹿児島県中小企業団体中央会 | 専務理事 | 冲田 健一 様 |
| ◇株式会社鹿児島銀行 | 常務取締役 | 日高 正文 様 |
| ◇鹿児島相互信用金庫 | 執行役員営業推進二部長 | 渡邊 誠 様 |
| ◇株式会社島津興業 | 顧問 | 島津 公保 様 |

※来賓ご芳名は順不同とさせて頂きます。
尚、席図表にご出席者全員のお名前を掲載してございます。

■友好参加者

- | | | |
|-----------------|-----------|---------|
| 医療法人聖心会かごしま高岡病院 | 院長 | 高岡 茂 様 |
| 畑野労務管理事務所 | 特定社会保険労務士 | 畑野 昌作 様 |
| 鹿児島市議会議員 | | 小森 孝文 様 |
| 富士火災海上保険株式会社 | 集団扱い担当 | 黒田 従久 様 |



『情報』を担う業界の 真価が問われている

鹿児島県印刷工業組合
理事長 岩重 昌勝



2012年 年頭所感

全日本印刷工業組合連合会
会長 水上 光啓

平成 24 年の新春を迎え謹んでお喜びを申し上げます。

また東日本大震災に被災された方や福島原発事故により避難されておられる方々には一日も早い復興と故郷への帰還をお祈りいたしております。

組合員並びに業界関連企業の皆様におかれましては日頃より組合活動への格段のご理解とご支援、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年は整備基本計画決定から実に 39 年をかけた九州新幹線全線開業という鹿児島にとって待ちに待った明るい話題で始まるかと思いましたが、1 月に霧島連山のひとつ、新燃岳で 52 年ぶりの大噴火があり霧島観光に大きな影響を及ぼしております。3 月には M9.0 という東日本大震災が発生し、その地震と大津波による福島第一原発事故によりわが国は未曾有の国難に直面しました。また 9 月には台風 12 号による大雨で各所に爪痕を残しましたし、鹿児島におきましても度重なる集中豪雨や桜島の噴火活動も日増しに活発となり爆発回数は 996 回を数え観測史上過去最高を記録しております。

このように想定外の困難により全国的に消費も低迷し景気の先行きも不安視されておりましたが、本県におきましては夏場頃より新幹線開業効果が見え始めてまいりました。この状況を永續させるために官民が一層の取り組みを図らねばならないと考えます。

一方、印刷業界も震災や原発事故の影響を多大に受けました。先ず広範囲な被災による大幅な需要の減退、また印刷用資材を担うサプライチェーンへの打撃や計画停電や節電による設備稼働の制約等々です。これらの停滞からの回復は道半ばといえますが、全印工連が 2004 年より策定・推進した「業態変革」も 8 年が経過し仕上げの年を迎えます。この事業は印刷環境がアナログからデジタルへ移行し、それまでの「待ちの姿勢」では業界自身が生存しえなくなるという危機感から生まれたものです。前半の 4 年間は「業態変革」の推進を指導し、2008 年に本県で開催した全日本印刷文化 in 鹿児島からは「業態変革」の実践を進めてまいりました。

この事業を通じて先ず経営者の意識を変え、企業も変革をしいかねばなりません。お客様方のニーズも時代とともに変化し我らに課された使命も大きく変わろうとしている中で「情報」を担う業界として存在し続けねばならないと強く感じております。

こうしたなか当組合も先ずその居場所を変えました。昭和 22 年より借地しておりました旧事務局用地を地主へ返還し 11 月より現在地に引っ越しました。64 年ものあいだ組合員や関連業界の皆様にご愛顧頂き、昭和の戦後復興から印刷業界の進化、発展の変遷のシンボルであった場所ですが契約期限も迫っており熟慮の結果決断しました。長年に亘り土地を貸与してくださった和田様には心より感謝申し上げます。次第です。

本年は世界情勢も大きく動き経済環境も激動するでしょう。わが国も震災復興や脱原発問題、TPP 参加、消費税を初めとする税体系議論と解決が急がれる問題が山積しております。印刷業界もこれらの問題に大きく影響を受けるでしょう。しかしその波濤を乗り越え次世代に責任を示さねばなりません。まさに「情報」を担う業界の真価が問われています。

最後になりましたが本年が業界関係者にとりまして実り多きより良い一年となりますことを心より祈念して新年のご挨拶といたします。

新年明けましておめでとうございます。

旧年中は、当会の事業運営に格別のご支援とご協力を賜りましたこと、厚くお礼申し上げますとともに、本年もご指導を賜りますようお願い申し上げます。

さて、昨年は 3 月 11 日に発生した東日本大震災の影響により日本の社会、経済が大きく揺さぶられた年でした。とくに経済面では自動車や電機、化学製品の部品メーカーが被災して製造がストップし、サプライチェーンの寸断により多くの製造業が生産の停滞を余儀なくされました。また、福島第一原発事故に伴う計画停電の実施と節電の要請により、東北・関東地方では機械稼働や温調設備、照明機器の使用を制限するなど、企業はもとより生活者の日常にも支障が生じました。また、印刷産業でもインキの原料メーカーが地震に伴う火事により被災し、インキ供給の逼迫という事態を引き起こしており、改めて危機管理の重要性が浮き彫りになりました。

世界を見ると、震災後の日本を含めて大きなパラダイムシフトが起こりつつあります。資源や環境の有限性やインターネットによる国境を越えた情報伝達、先進諸国の少子高齢化、新興国の中流市民の増加に加え、地球環境問題、ギリシアの信用不安に伴う欧州の金融危機。日本の産業には世界一の技術力があり、環境技術においても世界をリードしています。印刷産業にも世界的に優れた多くの技術とアイデアがあります。これらの諸問題を解決し、皆が生き活きと暮らしていける持続可能な社会を構築するためにも、今こそ印刷産業が積み重ねてきた「情報力」と「感性力」を活かす時だと思います。

私たちは示された目標やビジョンを達成するための努力を惜しみませんが、目標やビジョンを描くことには苦手意識があるようです。しかし、これからは自らの手でビジョンを描く必要があります。未知との遭遇といえる新しいパラダイムの世界には明確な羅針盤が存在しないからです。自分が向うべきビジョンや新しいビジネスを、我々自身の手で「創造」することが問われるのです。それには、今までのように過去の成功体験をベースに現在を見つめるのではなく、現在から未来を見つめることが求められます。

全印工連が 8 年間をかけて実施してきた「業態変革」事業は今年 3 月をもって終了致します。しかし、企業としての業態変革に終わりはありません。変化の著しい社会の中で、日常の中に業態変革を組み入れて実践し続けることは経営者としての責務といえます。業態変革事業で組合の皆様にご提供してきた様々な冊子やツールを活用し、ぜひ、自らのビジョンを描き、その実現に向けて邁進して頂きたいと思っております。

「連帯」、「対外窓口」、「共済」の役割を担う全印工連は常に「行動する組合」であるべきです。有益な情報の収集・分析・発信に加え、組合員の皆様の経営革新にお役に立つべく、各種事業を迅速に遂行していくことが組合に課せられたミッションであると考えています。この組合を通して、私たちが持つ「印刷力」を發揮すべく、互いに切磋琢磨し、この厳しい難局を乗り越えていこうではありませんか。

最後になりましたが、東日本大震災において被災された方々の一日も早い生活基盤の安定と地域社会・経済の復興を祈念致しますとともに、この一年が組合員と関係各位の皆様にとりましてよりよい年になりますことをお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。



年頭挨拶

絆と団結で新たな挑戦を

鹿児島県中小企業団体中央会
会長 岩田 泰一

平成24年の初春を迎え、謹んで新春のお慶びを申し上げます。
貴組合におかれましては、本県印刷業界の振興発展に対し大きく
寄与されておられますことに対し、深く敬意を表します。

さて、昨年日本経済は、年初に景気回復の兆しが見られ好調に
推移するかと期待を寄せておりましたが、3月に発生した未曾有の震
災と原発事故により大きく落ち込み、また欧州の金融不安に端を発す
る世界経済の減速と超円高により、製造業を中心に中小企業へ大き
な影響を与えました。

本県におきましては、集中豪雨や桜島、新燃岳の噴火など、大きな
自然災害に見舞われた一年でありましたが、念願の九州新幹線全線
開業の実現により、観光をはじめとする様々な業界に好転の兆しが見
られた一年でもありました。

このような中、中央会では「組合 絆 ルネッサンス」3万5千組
合の絆の力で復興を掲げ、全国の組合の力を集結し、震災からの
早期復興に取り組んでおります。

また、本会は本年度、従来の組合支援に加え、新しいビジネスチャン
スを創造する異分野連携や、ソーシャルネットワークを活用した地域
振興を積極的に推進してまいります。

貴印刷業界におかれましても、多くの電子媒体が誕生し、業界に
様々な影響を与えることが推測されますが、長い歴史の中で培われ
た高い技術力と、進化への挑戦が新たなビジネスチャンスの創出に
繋がると期待しております。

厳しく困難な経営環境の中でこそ、中小企業の団結と組織力が試
されており、また、それに応えることが本会の使命であります。

中央会といたしましても、引き続き「時代の風に応える中央会」として
貴組合とこれまで以上に連携を深め、本県経済振興に努力してまい
りますので、本年もご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、本年が貴組合にとりまして、飛躍の1年となり、組合員の皆
様方ますますのご発展とご健勝を祈念申し上げ、新年のご挨拶と
いたします。

2011年内外10大ニュース

WORLD

- 1位 北朝鮮の金正日総書記が急死
- 2位 欧州財政危機拡大、政権交代が相次ぐ
- 3位 中東に民主化の波、カダフィ大佐死亡
- 4位 ビンラディン容疑者、米の特殊部隊が殺害
- 5位 タイ大洪水、日本企業操業停止
- 6位 欧州に脱原発の動き
- 7位 米国で反格差デモ、世界へ拡大
- 8位 NZ地震で日本人28人死亡
- 9位 スティーブ・ジョブズ氏死去
- 10位 中国高速鉄道事故で40人死亡

Japan

- 1位 東日本大震災と福島第1原発事故
- 2位 野田内閣が誕生
- 3位 W杯で「なでしこ」世界一
- 4位 円が戦後最高値更新
- 5位 首相がTPP交渉参加表明
- 6位 東電、初の計画停電
- 7位 政府要請で浜岡原発停止
- 8位 大阪ダブル選で橋下氏圧勝
- 9位 小沢民主党元代表を強制起訴
- 10位 八百長問題で春場所中止

New Year's Concert



音楽工房「彩」IRODORIとは…
音楽にも、いろいろな「色」があります。
悲しい色、怒りの色、喜びの色、楽しみ
の色…。
私達は、ジャンルを超えて、「音」とい
う、いろんな「彩」を音楽を通じて奏で、
表現し、発信していきたいと思っ
ております。
音楽工房「彩」主宰 満田昭人

EMILY

EMILY /ピアノ弾き語りシンガーソングライター JAZZ シンガー

鹿児島県出身。両親は鹿児島天文館でジャズライブハウスを経営。父はギタリスト、母はジャズシンガーである。小学4年から作詞作曲を始め、中学3年(14)MBC放送主催のど自慢大会で優勝。ソニーミュージックオーディションで2万3千人の中からトップに選ばれる。2009年コンピレーションアルバムCDに佐藤竹善等と参加、SHIBUYA AXでのリリースコンサートに参加。2010年10月からジャズを始め、翌月の11月には東京南青山Body&Soulでジャズライブデビュー。2011年2月横浜モーションプールに出演。現在、東京青山Body&Soulや鹿児島でのライブ活動を精力的に行っている。10月から、エフエム鹿児島より毎週金曜日15:15～自身の番組がスタート!



MITSUDA AKITO

満田 昭人

音楽工房「彩」代表 ピアニスト、作曲家

鹿児島市に生まれ、3歳よりピアノを習い始める。1987年、武蔵野音楽大学音楽学部器楽学科ピアノ専攻入学。卒業後、東京での活動を経て地元、鹿児島にて音楽工房「彩(いろどり)」を主宰。コンサート企画やプロデュースの他に、鹿児島の企業のCMソング、TV、ラジオの番組曲等も制作しており、作品数は50を超える。また、コンサートやライブ等の演奏活動も全国各地で行い、NHK交響楽団のメンバーとも共演する。2009年、ジャズピアニスト松本圭使と2台のピアノユニット「W-piano」のCDをリリース。現在、ピアニスト・作曲家、「音楽工房 彩」主宰、鹿児島国際大学短期大学部音楽科非常勤講師、老人保健施設「西千石」音楽療法非常勤講師、鹿児島市知的障害福祉センター音楽教室非常勤講師、「しょうぶ学園」音楽教室非常勤講師、JASRAC著作権信託会員



KAWADA ERIKO

川田 絵里子 ヴィブラフォン

国立音楽大学卒業。第14回日本打楽器協会新人演奏会出演。第14回鹿児島県新人演奏会出演。第35回鹿児島市春の新人賞受賞。2004年徳間ジャパンコミュニケーションズよりCD「limelight」リリース。みやまコンサート協力演奏家、鹿児島県文化振興財団アーティストバンク登録アーティスト。十字屋クロスマリナー教室講師。鹿児島国際大学音楽科非常勤講師。

音楽工房 彩 (いろどり)
<http://www.irodori-music.com/>
W-piano <http://www.w-piano.jp>

鹿児島県印刷工業組合

〒892-0847 鹿児島市西千石町12番27号
TEL 099-222-1839 FAX 099-223-1463
URL <http://www.kapia.jp> E-mail p-office@kapia.jp



鹿児島県産 100% 竹紙
ホワイトを使用しています。